
花降るペデストリアンデッキ

仙台市市民協働事業提案制度 令和2年度事業

「仙台を花の街に」計画

一般社団法人「花降る街、仙台」

「花降る街、仙台」とは

フローリストが考える、仙台。 フローリストがつくる、仙台。

「花降る街、仙台」は
仙台市内のフローリストが集結し、
仙台市民に花の魅力・楽しさを届け、
仙台市内を「花」と「笑顔」でいっぱいにする活動を行います。

以下のvisionを掲げ、
仙台市内でワークショップイベントや
ディスプレイ活動を行っております。

- vision 1 : 花のチカラで、市民の心を潤します。
- vision 2 : イベントの魅力を高め、仙台に人を呼び 街を潤します。
- vision 3 : 仙台市から平和の心を発信し、
全国・全世界の人々の心を潤します。



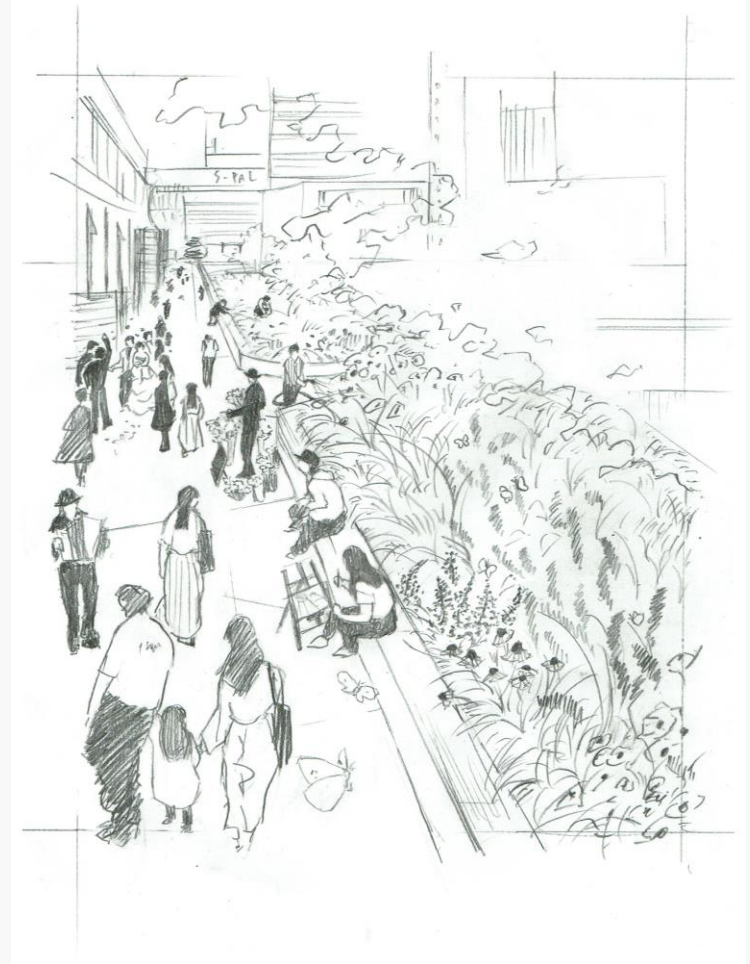
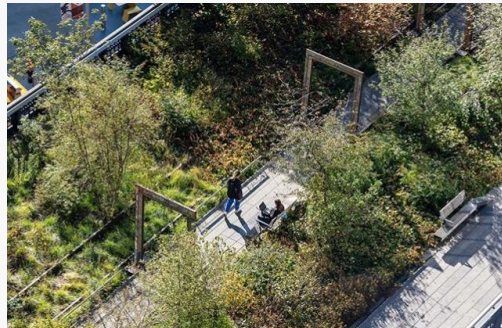
プロジェクトの目的

ペDESTリアンデッキに「杜の都、仙台」としての風景を。
まずは社会実験として、理解・応援してもらう仕組みづくり。

ただ花壇をつくるだけの事業ではありません。

仙台市、市民、企業と協働しながら、
そこで人と人との交流の場を創り出します。

そして、みんなの手でこれから先の100年も続く
「杜の都、仙台」を創り出す街づくりです。



仙台市、市民、企業と共に コンクリートジャングルに四季の風景デザイン

ヤブランのみ一種類だけが植えられていたペDESTリアンデッキの花壇を
宿根草の植物に植え替え、四季のある風景をつくります。

そして、それを市民と一緒に育てていくコミュニティガーデンの役割へと変化させます。

市民の手で、100年先も守っていく文化こそが
本当の意味での「杜の都、仙台」です。

私たちの街の「文化」を、仙台市はもちろん
多くの市民や企業で守っていく為の協力者を集めます。

①既存花壇を四季の感じられる植物に植え替え、維持管理

仙台駅ペDESTリアンデッキにある約75㎡の花壇を、宿根草・球根など四季の移り変わりのある植物に市民と植替えます。そして、維持管理まで市民や企業と一緒にいきます。

②植物を知る仕組みをつくる

約200種ほど植わっている植物に植物札を作成(50種抜粋)。QRコードも印刷し、気になった植物はWEB上で特徴や育て方など知る事ができます。またメンテナンス時にも育て方や剪定方法などを知る事ができます。

③市民と一緒に花壇をメンテナンスする、清掃する

月1回or2回、市民と一緒にペDESTリアンデッキ全体の清掃と花壇メンテナンスを行います。清掃はJT(日本たばこ産業株式会社)と協働して行います。

④多くの方に、理解・共感・応援してもらう為、冊子の作成

今後、多くの方の協力が得られるよう、このプロジェクトの意味を記した冊子を作成し、協力企業を募ります。

事業の実施状況(2020.09.24現在)

6月28日植え替えの様子



約100種1000株の苗を、市民50名と植えました。
年代も性別も違う人々が、植物を通じて会話が生まれ、とても良い時間を共有しました。



7月26日メンテナンスの様子



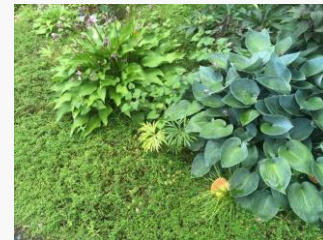
8月23日メンテナンスの様子



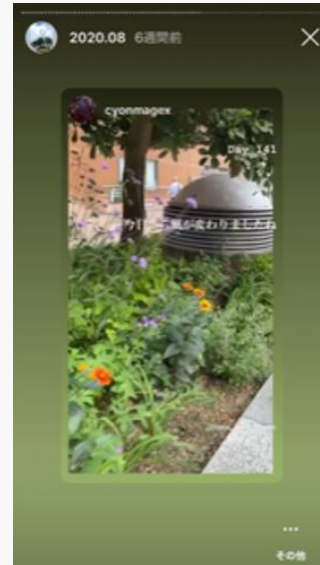
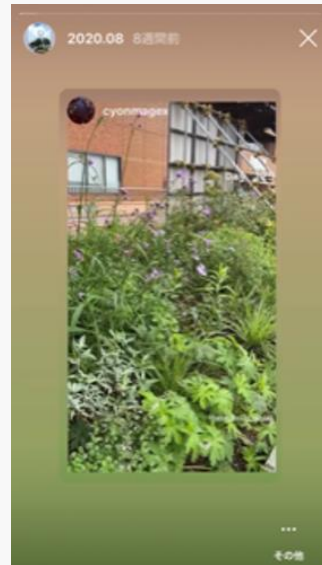
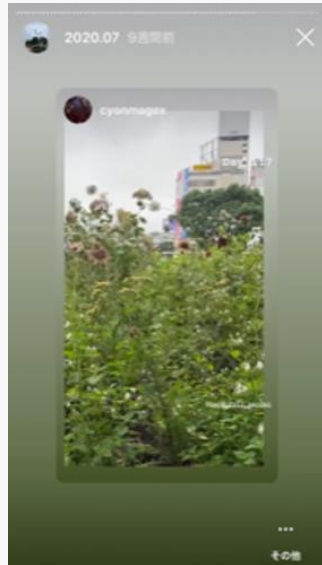
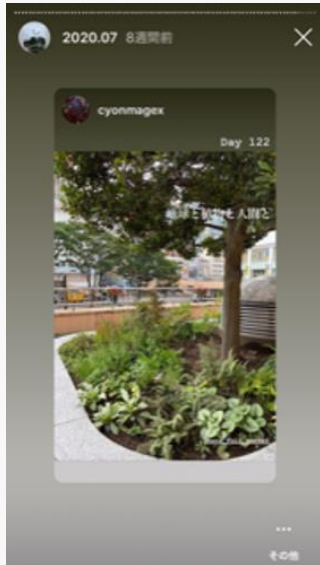
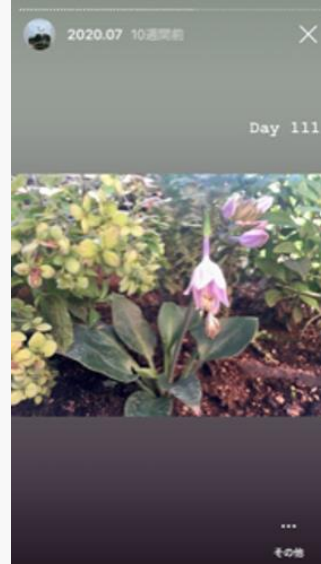
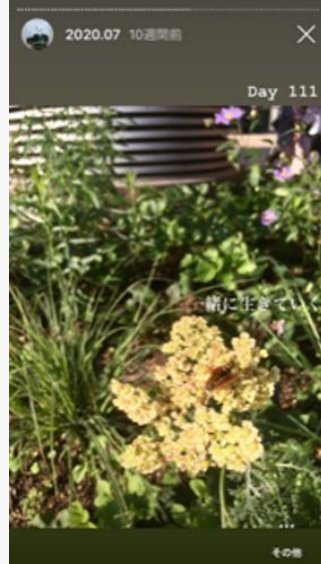
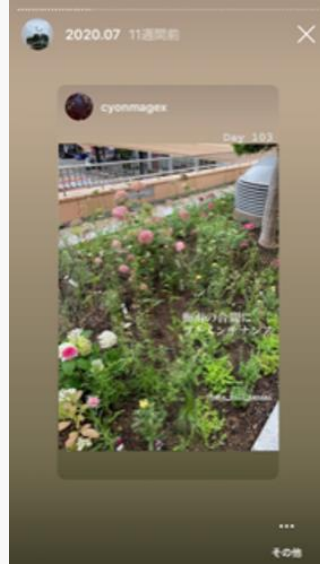
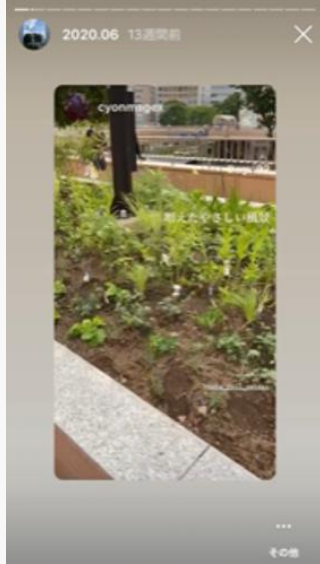
百年の杜推進課とは、
ペデ花壇に関わる、青葉区道路課や公園課との協
議の連携を取っていただいています。

7月26日那須研修

質の高いガーデン見学をさせていただき、苗デザインからメンテナンス、
一般の方に楽しんでもらう方法、苗の販売方法などを学びました。
それらを花壇デザインに活かしていますが、直接市民に還元できる方法を探りたい。



植物の様子



①既存花壇を四季の感じられる植物に植え替え、維持管理

他企業からも高評価をいただき、予定花壇以外にも植え替えが広がった。
今年の長雨、夏の暑さも乗り切り、無事に植物が根付いた。
ただし、まだまだ宿根草の認知不足もあり、一般的な花壇イメージとのGAPを感じる方もいる。

②植物を知る仕組みをつくる

コロナの影響もあり、まだ勉強会が開催できておらず。別方法での知る仕組みを10月に実施予定。
WEB植物図鑑は最終の校正段階。

テストサイトhttp://www.hanafulltown.com/sys_dir/
ID : hanafull PW : 2Dvr9MmU

③市民と一緒に花壇をメンテナンスする、清掃する

月一回、市民の方10名(コロナの為10名に絞って募集)とJTと一緒に有意義な時間を共有しながら実施。
ただ、リピーターの方が多くなってきているので、もっと初めての方や若い世代にも広げていきたい。

④多くの方に、理解・共感・応援してもらう為、冊子の作成

校正回数がかさみ、まだ校正中。10月校了予定。

ボランティアスタッフのケア

手伝ってくれる方々により楽しんでもらえる為の仕掛け。
より、自分事としてコアメンバーとしての動きをしてもらえるかどうか。

もともと植わっている木の病気

場所がら、薬散布が難しかったり、木の病気があっても剪定予算がついていなかったりして悪化が進んでからしか、対応ができず、下にいる植物にも降りかかっている状態だった。

生態系の戻りによる懸念事項

花々が多くなった事により、蝶々や蜂が戻ってきている。
とても自然な事だし、環境保全としてはとても良い事だが、
人通りの多い場所なので、蜂の巣が作られないような対策が必要かもしれない。

SDGs・環境保全としての役割もあるとの気づき

宿根草は一年草と違い、使い捨てではない植物です。花時期が終わったら役目が終わりではなく生き続けます。

また、上記にもあるように、今回のプロジェクトにより、コンクリートジャングルの駅前に生態系が戻ってきています。地球にとって、とても意味のある行動だと改めて実感。
環境保全の観点からも、長くこの活動が続くように行動していきたい。

秋冬メンテナンス

秋の立ち枯れ姿を素敵に楽しんでもらえるように、剪定などのメンテナンス。
また、早春より多くの花を楽しんでもらえるように球根の植え付け。

来期に向けての企業協力体制の強化

10月に完成する冊子や植物図鑑を活用し、企業との協力体制を強化する。
主には冊子をもとに、企業担当者との会合、プレゼンテーション。
仙台ビルディング協会、青葉通りまちづくり協議会、パタゴニア、商業施設各社

このプロジェクト以外にも増えた花壇の維持管理

この活動を機に、河北新報社あしたのみどりキャンペーン協力のもと、隣の10㎡花壇の植替え支援をいただき、9月27日に市民と植え替えました。70㎡の花壇と同じく、毎月維持管理を市民と行っていきたい。

仙台駅周辺の花壇植え替え

今年度、河北新報社の支援もあり花壇③まで植替えが完了し、来年度JT支援のもと花壇④の植替え計画が進んでいます。協働推進事業として、その後さらに広げていきたいと考えています。

宿根草紹介の強化、環境保全の強化

環境保全の為に、もっと多くの市民の方々に宿根草の魅力を知っていただきたいと思います。他地域や他国で活躍している宿根草を使ったガーデンやデザイナーなどの紹介を取り入れたい。

⇒他地域視察を市民に還元できる仕組み

⇒世界的に活躍しているガーデンデザイナーの紹介映画を上映

ボランティアスタッフとの関係性構築強化

毎月手伝ってもらっている市民に、より楽しく、より自分事として関わってもらえるように仕組みをつくりたい。

⇒今年度では、ネームプレートや参加ごとのスタンプなど実験的に試してみています